

6月補正予算

の概要をお知らせします

骨格予算 + 肉付け予算 = 今年予算
(当初予算) (6月補正)

今年度の当初予算は、1月に町長選挙があったため、住民生活への影響を配慮しながら、義務的な経費や継続的な事務事業に必要な経費を中心に構成された「骨格予算」となっていました。

このたび、6月議会で可決された6月補正予算では、当初予算で計上を見送っていた普通建設事業や単独補助金のほか、新たに取り組む政策的事業の予算などを計上した「肉付け予算」として編成しています。

これにより、一般会計補正予算額は、15億2,572万8千円の増額となり、補正後の今年度の予算総額は、156億5,220万円となりました。6月補正予算の主な事業を紹介します。

18歳までの医療費無償化

1,073万円

支出が増加する15歳からの子育て世帯の家計負担を軽減するため、10月から子ども医療費の無償化を18歳まで拡大します。



地域公共交通計画の策定

1,421万円

交通弱者の増加に備え、公共交通充実を進めていくため、大津町地域公共交通会議で地域公共交通計画を策定します。



交通安全標識、表示工事

2,001万円

小中学校周辺や地域からの要望箇所を中心に、町道上の薄くなった「停止線」「横断歩道」などを引き直します。



街灯・防犯灯LED化

3,967万円

町内の街灯・防犯灯のうち、LED化されていない約3,000基の半分1,500基をLED化して、安心安全なまちづくりと維持管理費の軽減を図ります。



新駅設置と周辺エリアの調査

905万円

新駅設置の可能性を調査するため、周辺エリアのまちづくりの基本構想や実現方策の検討、乗降客数の予測などを行います。



大津中学校の再生整備計画

968万円

耐力度調査を実施し、全面的な改修・改築に向けた方針を検討し、大津中学校の再生整備に伴う、基本構想を策定します。



コロナ対策関係の事業

◆子育て世帯生活支援特別給付金

4,015万円

◆熊本県時短要請協力金負担金

1,450万円

その他の主な事業

◆カープミラー設置工事

800万円

◆あけぼの団地改修工事

2億2,310万円

◆鳥獣・病害対策事業

763万円

◆道路維持・新設改良工事

5億8,189万円

◆かんしょ安定生産対策事業

229万円

◆小中学校施設改修工事

5,985万円

◆公園施設長寿命化対策事業

8,540万円

◆矢護川コミュニティセンター改修工事

2,726万円

◆公営住宅等長寿命化計画改定業務

1,000万円

◆南部地区交流広場整備工事

8,614万円

新庁舎の特色

住民の皆さんに安全・安心で、かつ快適に利用してもらうため、新庁舎に新たに設けられた設備の一部を紹介します。

防災

安全・安心で災害に強い庁舎

〈免震構造〉



建物と基盤との間に免震装置を設置し、地盤と切り離すことで建物に地震の揺れを直接伝えない構造

〈災害対策本部〉



災害時の防災拠点として、防災危機管理執務スペースの充実など危機管理機能を図る

〈自家発電〉



被災時の活動に必要な庁舎機能を維持するため、72時間以上の連続運転を可能とする電力の確保

UD

(ユニバーサルデザイン)

町民サービスを効果的・効率的に提供する庁舎

〈車いす席・議場〉



4階の議場では、傍聴席に車いす席や親子席を設置。親子席は防音効果が高いため、お子さま連れでも安心して傍聴が可能

〈親子席・議場〉



〈多機能トイレ〉



車いす利用者・視覚障がい者・オストメイト・杖利用者でも使いやすい多機能トイレの設置

機能性・合理性・快適性

まちづくりの拠点となる庁舎

〈キッズスペース〉



1階の西側階段下に、子どもが遊べるスペースを確保

〈待合ロビー〉



住民の窓口利用が多い課を1階に集約。待合スペースを広く確保

〈展望ロビー〉



4階のロビーは、住民の皆さんが自由に休憩できるスペース

〈多目的室〉



引き戸形式で大きな開口を設けたことにより、芝生広場と一体的な利用が可能